

## 第2期 真岡市まち・ひと・しごと創生総合戦略

### 策定の趣旨

市では、平成27年に「真岡市人口ビジョン」と「真岡市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、「選ばれる都市（まち）もおか」を実現するため、まち・ひと・しごとの創生と好循環に向けた取り組みを進めてきました。

今後においても、人口減少・少子高齢化社会に対応する切れ目のない取り組みを進めるため、令和2年度から5カ年を期間とする第2期総合戦略を策定しました。

### 人口ビジョン（将来展望）

#### 目指すべき将来の方向

- ▶若い世代の就職、結婚、妊娠・出産、子育ての希望を実現する
- ▶人口流出に歯止めをかける
- ▶だれにとっても利便性が高く、安全安心な都市を構築する
- ▶新しい時代の流れを力にする



#### 将来人口

平成27(2015)年  
79,539人

令和47(2065)年  
63,402人

国立社会保障・人口問題研究所（社人研）の推計によると、令和47（2065）年の総人口は40,493人に減少すると見込まれています。

これに対し、総合戦略の各施策による効果が着実に反映された場合、本市の独自の推計では、令和47（2065）年の総人口が63,402人となり、社人研の推計よりも、約23,000人多く見込まれます。

### 戦略の横断的目標と基本目標

#### 横断的目標 ▶ 新しい時代の流れを力にする

- ◎地域における Society5.0（※1）の推進
- ◎地方創生 SDGs（※2）の実現などの持続可能なまちづくり

**1 基本目標1**  
人材を育て、しごとをつくり、安心して働ける環境をつくる



**2 基本目標2**  
真岡市へ新しいひとの流れをつくる



**3 基本目標3**  
結婚、妊娠・出産、子育ての希望をかなえ、だれもが活躍できる地域社会をつくる

**4 基本目標4**  
安心して暮らしやすい時代に合った地域をつくる



※1 Society5.0…IoT、ロボット、AI、ビッグデータ等の新たな技術をあらゆる産業や社会生活に取り入れ、経済発展や社会的課題を解決する新たな社会のこと。

※2 SDGs…平成27年の国連サミットで採択された「誰一人取り残さない」持続可能な社会の実現のための17の国際社会全体の目標のこと。

## ～さらに魅力あるまちをめざして～ 真岡市総合計画 2020-2024

### 策定の趣旨

市では、平成27年度から令和元年度までの5カ年間の「第11次市勢発展長期計画」を策定し、まちづくりに取り組んできました。

人口減少や少子高齢化の進行、防災意識の高まり等社会情勢が大きく変化し続ける中で、新たな時代に適合し、魅力あるまちづくりに取り組むため、これからのまちづくりの指針となる「真岡市総合計画 2020-2024」を策定しました。



### 計画の構成・期間

#### (1) 基本構想

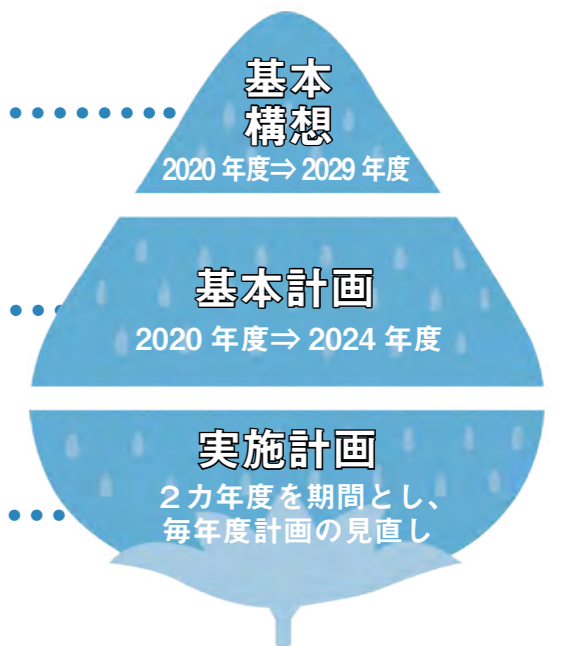
本市のあるべき姿を描き、まちづくりの将来都市像とその実現のための施策の基本となるものです。

#### (2) 基本計画

基本構想に掲げられた将来都市像を実現するため、主要な施策を明確化したものです。

#### (3) 実施計画

基本計画で定められた主要施策を具体的に実施していくための事業計画です。



### 目指すべき将来都市像と政策

将来都市像	まちづくりの7つの施策
<b>JUMP UPもおか</b> ～だれもが“わくわく”するまち～  若い世代を中心に、すべての人が「真岡に住みたい」「真岡で働きたい」「真岡で子育てしたい」と、もっと思えるまち。本市の未来を担う「人づくり」のために、「楽しみ」、「可能性」を感じ、“わくわく”とした気持ちで未来を描けるまちを目指します。	1 「人づくり」～豊かなこころアップ!～
	2 「笑顔づくり」～安心と元気アップ!～
	3 「にぎわいづくり」～まちの活力アップ!～
	4 「都市づくり」～暮らしやすさアップ!～
	5 「環境づくり」～安全なまちアップ!～
	6 「魅力づくり」～市民の力アップ!～
	7 「行政経営づくり」～効率・効果アップ!～